



月1回15日発行

発行人 金子 彰
編集人 丸山 巧

日教組 埼玉教組 ニュース

JTU

発行所 埼玉教職員組合 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町3-13-10 ヤギシタビル4F TEL 048(823)4061 FAX 048(823)4062

(URL)http://www16.ocn.ne.jp/~stu/

(E-mail)stuurawa@peach.ocn.ne.jp



5月20日、衆議院第一議員会館大会議室で、院内集會が開かれ、ジャーナリストの前田哲男さんが安保法制懇報告書批判を行いました。5月28日にも同様の院内集會が行われ、憲法学者から解釈改憲についての報告がありました。6月3日には、日本教育会館大ホールにおいて、「戦争をさせない1000人委員会講演集會」が開催されました。作家の鎌田慧さんや法政大学の山口二郎さんなどが、参加者に「集团的自衛権の危険性」「解釈改憲の問題」を訴えました。

6月7日、さいたま市民会館おおみやにおいて、戦争をさせない1000人委員会埼玉設立集會が行われ、沖縄平和運動センター議長の山城博治さんが「沖縄と平和憲法」の講演を行いました。6月12日、日比谷野外音楽堂で「戦争をさせない署名」提出集會が行われました。どの集會にも埼玉教組組合員が積極的に参加しました。

各地で「戦争をさせない1000人委員会」集會

教え子を再び戦場に送るな!!

平和で戦争のない社会を続けるため、今、教職員は!?

今こそ平和学習と平和を求める行動に積極的参加を!!

平和を願わない人はいないでしょう。まして、戦争を望む人もいないでしょう。戦後、私たちは平和憲法を守り、曲がりなりにも直接的には戦争に参加しない70年近くを過ごしてきました。しかし、今、憲法が重大な局面に立たされています。安倍政権の解釈改憲により、集团的自衛権行使という、まさに戦争ができる体制がつけられようとしています。

私たち学校で働く教職員は、毎日、教室で子どもたちと顔を合わせています。この子どもたちを、近い将来、戦場に送ることがあつてはなりません。私たちは呼びかけます。日々の生活の中で、平和や戦争について話題にし、平和の尊さと平和を守

守る大切さを語り続けましょう。平和学習を今まで以上に行きつかり行い、子どもたちとともに、過去の戦争の悲惨さを直視し、戦争を防ぐための努力について考えあいましょ。戦争をさせないために、すべての分会で、憲法学習をすすめてみましょう。「戦争をさせない全国署名」をさらに展開しましょう。

日々、学校で働く教職員の仲間の皆さん、私たちの諸先輩たちは、「教え子を再び戦場に送るな」を合言葉に、戦争反対、平和を守れと運動を進めてきました。今こそ、私たち教職員は、解釈改憲のまやかしを許さず、集团的自衛権反対の声をあげ、主権者として平和を守る行動に参加しようではありませんか。

授業に使おうⅡ 「先人の知恵」(ことわざ)から

- ① 「よく学びよく遊べ」
よく遊べない子はよく学べないということも!子どもにとって、遊びは基本的権利です。「子どもの権利条約」第31条(休息・余暇、遊び、文化的芸術的生活への参加)を思い起こさせます。
- ② 「三つ叱って五つほめ
七つ教えて子は育つ」
具体的にほめてあげるのが最も高。教えるというのも、くれぐれも押し付けにならないように。教育と教化は根本的に異なります。子は自ら育つのです。

羅針盤

「残業やってくれないか」と上司が一人一人の労働者を回りながら聞いていた。はるか昔、私が学生時代の夏休み、製造業のアルバイトをしていた時の話。会社の都合でお願いだから割増残業代がつくが、自由選択という説明だった ▶人間らしい生活をするには、8時間労働が

当たり前という労働法制がつくられて約200年。労働はあくまでも8時間(今は7時間45分)が基本。残業は例外で、本来あつてはならないものというのが原則。使用者側の都合で残業をお願いするには割増賃金を払うというペナルティを課してやむを得ず許されるものだ ▶ところが、あきれたことに産業競争力会議が新たな労働時間制度、労働時間規制撤廃を論じ、残業代をゼロに

すると言っている ▶これは働く者をまさに奴隷化するものであり、断じて容認できない ▶学校の教員の勤務時間のたためさは、残業代を支払う残業を認めていないことに起因する。「教師は労働者である」と日教組倫理綱領で謳ったもの、いつまでも一人前の労働者になりえていない私たちが、自分たちのみならず教え子を奴隷にする動きに抗しなければと強く思う。



選出された新常任委員のみなさん

今年も頑張るぞ! 女性部定期大会

5月18日、国立女性教育会館を会場に、埼玉教組女性部定期大会が開催されました。開会宣言の後、来賓の埼玉退女教の中村会長が連携を強化しながらともに頑張りましょうと挨拶。埼玉教組本部からは倉持副委員長、丸山書記長が参加し、昨年開催された関東ブロック母と女性教職員の会埼玉大会成功の礼を述べつつ、中央情勢報告を行いました。今回、部長を退任される鈴木俊美さん(児玉・大里支部)には大きな拍手が送られました。また、今年度から部長に就任された日時和枝さん



(比企支部)にも励ましの拍手が送られました。なお、県教委に要求書提出後、夏休み期間中に県教委女性部交渉を行う予定です。

6月中旬〜7月中旬活動予定

【6月】

- 14日(日) 埼玉教組第26回定期大会
- 17日(火) 日教組組織代表者会議
- 19日(木) 連合埼玉政策制度委員会
- 21日(土) 狭山事件フィールドワーク
- 25日(水) 児玉教育フォーラム
- 28日(土) 第7回中央執行委員会・養護教員部大会
- 30日(月) 第75回埼玉教育フォーラム幹事会



〃 人事院関東交渉

【7月】

- 4日(金) 埼玉県地公労大会
- 5日(土) 第8回中央執行委員会
- 〃 事務職員部定期大会
- 6日(日) 大田 堯・映画とトークの集い
- 8日(火) 連合埼玉執行委員会
- 12日(土) 南支部定期大会・入間支部定期大会
- 17日(木) 日教組中央委員会



今、教育は!? 大田 堯さん大いに語る!

対談VS:高橋哲哉さん 映画(かすかな光へ)とトークの集い

96歳を迎えたさいたま市在住の大田堯さんは、今の教育状況に対して、訴えたいことが山ほどあると言われます。哲学者の高橋哲哉さんとの対談が実現しました。映画「かすかな光へ」も上映します。ぜひ、お誘いあわせの上、ご来場ください。

【日 時】 7月6日(日) 14:00~(開場13:30)

【場 所】 さいたま市文化センター小ホール(南浦和駅西口下車)

【参加費】 500円(学生・障がいをお持ちの方・介添者は無料)

【主 催】 映画とトークの集い実行委員会

おしえて!
ろうきん活用術

＜中央ろうきん＞の



財形貯蓄で かしこく 目標を達成!

給与から天引きして毎月お金を貯められるから、知らず知らずに計画的な貯蓄ができます。

- 募集日程**
- 募集期間 2014年6月10日(火)~6月30日(月)
- 申込期間 2014年7月1日(火)~7月10日(木)
- 募集内容**
- 新規申込み ● 積立額の変更申込み
- お申込方法**
- 職場で手続きできます。ろうきん職員が職場へお伺いします! お気軽にお問合せください!

財形貯蓄の ラインナップ

一般財形

車、旅行、結婚、夢への資金づくりに。積立途中の引出しもOK。

財形住宅

非課税のメリットで住宅資金づくりに。利息は非課税。(※)

財形年金

セカンドライフへの資金づくりに。利息は非課税。(※)

手続きは職場で申請する
だけなのでカンタン!!

(※) 貯蓄残高550万円(財形住宅と財形年金を合わせて)まで、お利息に税金がかかりません。ただし、払出要件によっては税金がかかる場合があります。

商品・サービスに関するお問い合わせは、下記(中央ろうきん)埼玉県内営業店まで(50音順)

- 上尾支店 ☎048-773-2351
- 朝霞支店 ☎048-474-7111
- 大宮支店 ☎048-645-0011
- 春日部支店 ☎048-736-3661
- 川口出張所 ☎048-253-8181
- 川越支店 ☎049-242-3955

- 熊谷支店 ☎048-522-1896
- 越谷支店 ☎048-990-8711
- さいたま支店 ☎048-864-0100
- 狭山支店 ☎04-2952-1011
- 秩父支店 ☎0494-22-3340
- 所沢支店 ☎04-2993-1700

- 羽生出張所 ☎048-561-8011
- 飯能支店 ☎042-973-2865
- 東松山支店 ☎0493-23-6161
- 深谷支店 ☎048-571-3111
- 本庄支店 ☎0495-24-2111



茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨の店舗でお待ちしております。



中央労働金庫

(2014年6月1日現在)

5.26 県教委交渉



高校入試調査書の変更を確認!

5月26日、埼玉教組は、埼玉県教育委員会と高校入試に関し交渉を行いました。初めに検査開始時刻を5分早めてしまった事故が1件あったことについて、県教委は、「事故防止に努める。」と説明。組合員からは、時間を気にしながら検査に臨む生徒の立場に立った対応を強く求めました。

また、定員内不合格の学校・生徒数の増加に関して、「定員内不合格をなくすこと」という要求項目に関し、県教委は「一昨年度、14校19人、昨年度4校、11人、今年度は11校18人である。」と回答。組合側は、増えたことは問題であると強く反発、なぜこのようなことが起きたのか、障がいのある受検生が

差別されたのかと追及。県教委は「毎年、定員内不合格をなくすよう強く指導している。まして、障がい者差別はない。18人は個々の校長の判断で行なったものと理解している。」と、詳しい内容を述べないままでしたが、今後、具体的な内容について、協議を通じ、詰めていくことになりました。

また、受検科目に含まれる教科に関する資格試験（英語検定、漢字検定等）を合否の判断材料にするなどという要求に関して、県教委は、「学校以外の学習の成果として評価する。」として、取り合いませんでした。組合側は、家庭の経済力により差の出る事態を招く恐れもあり、一生懸命努力している生徒が検定を受けないだけで不利益を被るような制度はおかしいと、さらに検討するよう強く求めました。

また、埼玉教組が指摘していた調査書の選択教科の欄は削除されることになりました。また、部活動の記載方法に関し、個別高校ごとに大会名・主催団体・順位などの記載基準が変わっているために中学側が混乱している事実を突きつけ、改善を要求しました。

埼玉退職教職員協議会 第25回総会開催

5月29日、熊谷市中央公民館において、埼玉退職教職員協議会第25回総会が開催されました。沖松信夫会長の挨拶で会長は集团的自衛権について、その説明の曖昧さやおかしさをわかりやすく話され、この会の重要性について強調されました。

会場には、埼玉教組をつくり発展させてきた先輩諸氏がそろい、和やかな中にも緊張感のある総会となりました。会長の話にうなずく姿も多く見られました。

当日はかなり暑かったものの(夕方には雹が降ったというニュース)、参加者は今年度の方針について、現退一致の方針の下、活発な議論を展開しました。



埼玉退職女性教職員の会 第9回総会開催

5月16日、中央労働金庫東松山支店会議室において、埼玉退職女性教職員の会第9回総会が開催されました。総会は、中村美恵子会長の『今年度もがんばっていきましょう!』との挨拶の後、来賓として出席した武井誠坂戸市議は、現在進行中の取組として坂戸市で福島の子どもたちを一時預かる運動を計画していることを報告。参加者は真剣に聞き入っていました。総会は、社会の問題点にも触れ、現職との連携も進めていけるような元気なものとなっていました。埼玉教組からは丸山書記長が参加、連帯の挨拶を行いました。

比企支部定期大会開催



5月28日、嵐山町又エツクを会場に、比企支部定期大会が開催されました。比企支部は、新規加入者が増えていく支部です。これも支部書記局や単組組織が地道な取り組みを行ってきたからこその成果であるでしょう。分会訪問を計画的に行い組合員の意見を大事にし、組合員が各職場で、おもしろいことを改善しようという意見を述べていることが組織拡大につながっているとの発言が印象に残りました。定期大会では、顔なじみがそろう中、多くのとりくみを報告しあい、今年度の方針が決定されました。田嶋執行委員長を中心に、今年度もさらなる進展が期待できる大会となりました。



道なとりくみを行っているからこその成果であるでしょう。分会訪問を計画的に行い組合員の意見を大事にし、組合員が各職場で、おもしろいことを改善しようという意見を述べていることが組織拡大につながっているとの発言が印象に残りました。定期大会では、顔なじみがそろう中、多くのとりくみを報告しあい、今年度の方針が決定されました。田嶋執行委員長を中心に、今年度もさらなる進展が期待できる大会となりました。

児玉・大里支部定期総会開催

5月30日、本庄市で、児玉・大里支部定期総会が開催されました。特に議論になったのが、養護教員部で特に運動しているフツ化物洗口の問題です。支部内で3年前から学校、保育園、幼稚園でフツ化物洗口が行われているところがあり、これから行おうとする地域もあるとのこと、対応が急がれます。総会では組合員が和気あいあいとした中で発言しあい、団結力のある支部だと感じられました。様々なとりくみを通じて、地域のためになる組合を守っていくという意欲が感じられる総会でした。総会後は、食事会に移行し、組合員の親睦を図る場となり、楽しい一時となりました。

同和問題をはじめ基本的な人権が尊重される社会の実現を!!

部落解放・人権政策確立要求 埼玉県実行委員会 第28回総会開催

5月28日、部落解放・人権政策確立要求埼玉県実行委員会第28回総会がさいたま市ときわ会館大ホールを会場に開催されました。

この総会は、県内各地から同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題解決のために総合的政策を確立させることを目的に弁護士、宗教者、埼玉教組・埼玉高教組などの労組、市民団体、部落解放同盟、議員（民主・公明・社民）などで構成しているものです。

総会は、川向秀武会長の挨拶後、2013年度活動報告、会計報告、また、2014年度活動計画、予算案が提案され、原案通り承認されました。

今年は、①人権施策推進にむけた埼玉県への要請 ②「人権侵害救済法」「差別禁止法」の早期制定の取り組み ③戸籍不正取得防止のための登録型本人通知制度普及の取り組み ④就職差別撤廃に向けた公正採用選考の取り組み ⑤地方自治体人権政策フォーラム開催等8つの取り組みを重点に活動していくことを確認しました。

川向会長は退任され、萩野映明さん（埼玉県仏教会長）が新会長に就任しました。

総会后、NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会の中島潤さんによる「多様な生と性に気づいて暮らすこと」というテーマで記念講演が行われました。

STOP THE 格差社会

暮らしの底上げ実現 中央総行動・全国統一集会



5月27日、STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現を求める集会が全国47都道府県各地で開催されました。東京では、日比谷音楽堂での集会が開かれ、それをライブで各地域の会場に流すなど、全国に同時連動させた行動となりました。

日比谷公園での集会では、主催者代表の古賀伸明連合会長の挨拶や、海江田万里民主党代表の国会情勢報告が行われました。

①「生涯派遣で低賃金」を増やす派遣法の改悪②首切りが自由でできる「解雇の金銭解決制度」の導入③残業代が支払われなくなる「ホワイトカラー・イグゼンプション」制度。④低賃金を競わせる外国労働者の受け入れなどの制度が私たちの暮らしを困窮させることは間違いありません。

集会では、連帯の挨拶として、鳥越俊太郎さんが挨拶に立ち、「古い言葉と思われるかもしれないが、立て万国の労働者と言いたい。」と述べました。この集会に先立ち、秋葉原駅前では、日教組組合員など約500名が参集し、連合の宣伝カーに乗る加藤日教組委員長や連合役員などの訴えを熱心に聞きました。（写真）さいたま市ではスーパリアリーナを会場に「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」埼玉集会が開催され、埼玉教組の組合員も多数参加しました。

狭山事件再審を求める市民集会開催!!



▲アピールを読む丸山書記長 石川さんと袴田さん

5月23日、東京・日比谷野外音楽堂で「狭山事件の再審を求める集会」が開かれました。石川一雄さんが不当逮捕され51年がたち、今なおこのえん罪事件が解決していない現状に対し、多くの方々が憤っています。国の姿勢を変えさせたいとの思いから、こ



の集会には、各方面から多くの人々が参加しました。主催者挨拶に続いて、国会議員の挨拶、弁護士団の報告と会は続き、石川さん本人と妻の早智子さんの力強い再審請求に向けたアピールがありました。

石川さんの話は、51年もの長い間たたかいた強い精神力、人間の尊厳を守ろうとする思いが伝わりました。その出来事を紹介しました。その後、漫画家、石坂啓さんによる市民アピール、鎌田慧さんによる集会のまとめ、部落解放埼玉県共闘会議・丸山巧埼玉教組書記長による集会アピール、組部落解放同盟中央本部委員長による閉会挨拶に続いて、参加者は東京駅近辺までのデモ行進に元気に出発しました。

する強い決意を感じさせられるものでした。その後、狭山事件の石川さんと同様、えん罪事件の犯人として扱われた足利事件の菅谷巖さん、布川事件の杉山卓夫さん、櫻井昌司さんが連帯のアピールを行い、さらに、最近再審開始が決定した袴田巖さんも登場。石川さんが袴田さんと過ごした拘留所内での出来事を紹介しました。その後、漫画家、石坂啓さんによる市民アピール、鎌田慧さんによる集会のまとめ、部落解放埼玉県共闘会議・丸山巧埼玉教組書記長による集会アピール、組部落解放同盟中央本部委員長による閉会挨拶に続いて、参加者は東京駅近辺までのデモ行進に元気に出発しました。